

いずみ

発行者
泉公民館
編集 谷岡真美
Tel 47-0353

泉自治会・公民館活動等に
ご協力よろしくお願ひします。

令和7年度役員決定

令和7年がスタートし、泉地区組織である自治会・老人クラブ等の役員が決定しました。
また、各部落の区長・組長等も決まりましたので紹介します。
(敬称略)

区 長	
出目一区	八十島 治郎
出目二区	二 宮 渉
興 野 々	高田 健作
岩 谷	中平 雄三
上 川	松岡 島夫
小西野々	佐久間 優
小 倉	芝 敦 司

組 長	
出目一 1	渡 辺 輝 彦
出目一 2	堀 江 健 司
出目一 3	山 本 章 一
出目一 4	水 野 貴 匡
出目一 5	中 西 義 信
出目一 峠	松 岡 利 和
出目一中島	善家 由美子
出目二新田	岩本 益太郎
出目二谷喜来	松 岡 泰 史
興 野 々 芳	菊 地 昭 夫
興 野 々 寺	井 上 治
興 野 々 中	高 橋 哲 生
興 野 々 東	今 城 喜 久 生
岩 谷 上	山 下 悦 郎
岩 谷 下	中 平 雄 三
上 川 市ヶ成	阿 部 和 行
上 川 本 村	新 家 邦 彦
上 川 豊 永	堀 昌 彦
小西野々上	山 口 純 夫
小西野々下	竹 場 ま ち こ
小 倉 川 崎	森 本 三 津 子
小 倉 町 1	橋 本 彰 夫
小 倉 町 2	芝 延 欣
小 倉 上 住	岡 則 正
小 倉 下 住	長 山 新 一
小 倉 宮 口	都 能 博 子
小 倉 宮 奥	東 春 人

自 治 会 役 員	
自 治 会 長	芝 敦 司
副 会 長	二 宮 渉
監 事	松 岡 泰 史
監 事	山 下 悦 郎

老 人 ク ラ ブ 泉 支 部	
支 部 長	蒲 生 弘 之
副 支 部 長	高 田 展 明
事 務 局	節 安 武 美
女 性 部 長	渡 邊 美 佐 子
体 育 部 長	山 下 展 輝
監 事	岡 本 嘉 史
監 事	赤 松 研 二

公 民 館 運 営 審 議 会	
委 員 長	芝 敦 司
副 委 員 長	竹 場 恭 介
委 員	蒲 生 弘 之
委 員	松 本 智 昭
委 員	山 本 庸 祐
委 員	山 下 里 美

鬼 北 町 民 生 児 童 委 員	
会 長	山 本 庸 祐
副 会 長	平 野 邦 彦
委 員	熊 谷 昭 博
委 員	松 浦 智
委 員	小 川 泉
委 員	渡 邊 嘉 則
委 員	竹 場 敬 一
委 員	芝 修 次
委 員	船 田 悦 子
主任児童委員	布 博 文

泉地区自主防災連絡協議会	
泉地区会長	山 本 庸 祐
出目本村組	井 関 勝 安
峠	毛 利 悠 平
中 島	善家 由美子
出目二区	岩本 益太郎
興 野 々	善 家 郁 郎
岩 谷	山 下 悦 郎
上 川	山 下 展 輝
小西野々	兵 頭 健 生
小 倉	高 内 健 治

鬼 北 町 環 境 保 全 推 進 委 員	
委 員	松 浦 智
委 員	渡 邊 邦 夫
委 員	芝 延 欣

交 通 安 全 協 会 泉 支 部

支 部 長	宮 本 泰 伸
副 支 部 長	奥 藤 光 明
会 計	山 下 展 輝
女 性 部 長	渡 邊 ヒ ト ミ
部 落 理 事	高 田 悦 夫
部 落 理 事	奥 藤 高 志
部 落 理 事	高 橋 生 司
部 落 理 事	船 田 和 隆
部 落 理 事	山 本 庸 祐
部 落 理 事	谷 口 泰 彦
部 落 理 事	長 尾 慶 太
部 落 理 事	山 下 雅 彦
部 落 理 事	増 田 正 孝
女 性 部 理 事	森 岡 江 美 子
女 性 部 理 事	高 田 み ゆ き
女 性 部 理 事	高 橋 み ど り
女 性 部 理 事	山 本 明 美
女 性 部 理 事	新 倉 和 代
女 性 部 理 事	堀 江 彩
女 性 部 理 事	芝 ス ミ 子

鬼 北 町 交 通 安 全 指 導 員

指 導 員	毛 利 甲 子
指 導 員	高 田 時 彦



職員異動のお知らせ

この度、泉公民館職員及び、
泉小学校職員の異動があり
ましたのでお知らせいたし
ます。

泉公民館

泉公民館管理人

宮崎 清楓

(泉小学校より異動)

泉公民館職員

館長

高橋 哲生

主事

谷岡 真美

管理人

宮崎 清楓

泉小学校新任職員

泉小学校教頭

増田 典嗣

(宇和島市立立間小学校より異動)

泉小学校教諭

寺岡 紗弥香

(鬼北町立近永小学校より異動)

泉小学校校務員

清家 幸



たかのす学級開講

令和7年4月19日(土)たかのす学級「開講式」及び、「ストーンアート教室」が行われました。

しかしこの日は多数の学級生の別の予定と重なってしまい、急遽、たかのす学級卒業生の皆さんを招集。快く集まってくれたみんなでストーンアートを楽しみました。

講師にお招きした日吉地区の城平正文氏と城平美和子氏のご指導のもと、児童たちは自由な発想でそれぞれが選んだ石に絵を描き、自分だけのアート作品を作りました。



先生の説明を真剣に聞きます。



館長から正しい水やりの講義。



4月16日(水)
播種・箱苗づくり

種もみを満遍なく蒔きます。
いい感じ！



令和7年度、「ふれあい農園事業」が始まりました。
平成11年から続く泉公民館伝統の行事。今年度も児童たちと米作りを通して、多くのことを学んでいきたいと思っています。
また、いつもご協力いただく老人クラブ泉支部の皆さん、農業公社、地域有志の皆さん、今年度もおいしいお米がとれるよう、ご協力お願いします。
地域の皆さんもぜひ、田んぼを覗いてみてください。

ふれあい農園事業

4月24日(木)
トンネルづくり

16日に種を蒔いた苗が芽を出していました。
みんなで苗のお家を作って生育を促します。

上手に植えています👏



みんなで記念写真📷
「はい、こだいまい〜&」



トンネル前の水分補給。



いよいよシートを被せていきます。



今年もち米を農業公社に植えていただきました。
事前の畔塗から代掻きまでご協力いただき、本当に感謝です。



きれいな一列です。



5月13日(火)
田植え

さわやかな風が心地よい、よく晴れた日に田植えを行うことができました。泉小学校児童全員で一列になり、息を合わせて植えていきます。
ぬるぬる？ひんやり？どんな感触だったかな。大人になってもみんなで田植えをしたことを覚えてほしいなと思いました。
そして、今年度も無事に田植えが終わりほっと胸をなでおろしているところです。

精魂込めて作り上げた新規事業が、親会社に潰された。理由はリスク回避。
怒りを爆発させた3年目の社員、高宮麻綾は社内外を駆けずり回り、「リスク」の調査に乗り出す。
忖度、義理、出世・・・それって昭和の話？いえいえ、いつの時代も会社はややこしくって面白い！
今日の味方は明日の敵。めくるめく令和のサラリーマン小説が爆誕。



「高宮麻綾の引継書」
城戸川りょう

本のリクエスト
お待ちしております♪



北九州市の高蔵山で一部が白骨した遺体が発見された。地元のタウン誌でライターとして働く飯塚みちるは、元上司で週刊誌編集者の堂本宗次郎の連絡でニュースを知る。
遺体と一緒に花束らしきものが埋められており、死因は原因不明だが大きな外傷はなかった。警察は、遺体を埋葬するお金のないものが埋めたのではないかと考えているという。
遺体の衣類のポケットの中には、メモが入っていた。部分的に読めるその紙には「ありがとう、ごめんね、みちる」と書かれていた。
自分と同じ「みちる」という名前、中学生のころから憧れ、頑張り続けた記者の仕事。全てから逃げたままでもいいのか。みちるはこの事件の真相を追うことに決めた――。



「月とアマリリス」
町田そのこ

最愛の弟が急死した。姉の野宮薫子は遺志に従い弟の元恋人・小野寺せつなと会うことになる。無愛想なせつなに慣れる薫子だったが、疲労がたたりその場で倒れてしまい――。
食べることは生きること。二人の「家事代行」が出会う人びとの暮らしを整え、そして心を救っていく。



「カフネ」
阿部 暁子

東京湾臨海署刑事組対課強行犯第一係、通称・安積班のメンバー須田巡査部長が、臨海署管内にあるスナックのマスターから、ミカジメ料を要求されたことと相談を受けた。安積と須田は暴力犯係の真島係長に相談し、見回りを強化してもらうことに。一方、管内で立て続けに傷害事件が発生する。湾岸エリアが物騒な空気に包まれる中、交機隊の隊員が、速水小隊長の様子がおかしいと安積に相談にきた。心配に思う安積のもとに、速水が救急搬送されたことと連絡が入って……。次々と起こる傷害事件。その目的は何なのか。市民と、信じる正義を守るため、臨海署のプライドをかけて、安積たちはかつてない戦いに挑んでいく！



「天狼」
今野 敏

編集後記

無事に主事2年目となりました。管理人時代も含めると、泉公民館勤務7年目のスタートです。

今年は泉公民館下のサクランボが今まで見たことないほど大豊作で、7年いってもまだ初めて見る景色があるんだなあ。と感心しました。

今年の泉公民館事業もサクランボに負けず、実りの多い一年となるよう頑張ります。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。谷

6月・7月行事予定

※あくまで予定ですので、急遽変更の場合があります。

6 月		7 月	
5日	泉自治会文化部会	3日	第2回泉地区納涼盆踊り大会 実行委員会
7日	ふれあい体験学級 「交流クロッケー教室」	6日	広見川等統一清掃日
18日	第1回泉地区納涼盆踊り大会 実行委員会	9日	老人クラブ泉支部クロッケー大会
23日	区長・組長会	25日、 26日	たかのす学級「防災キャンプ」